

第1 基本方針

1. 整備目的

熊本大学(本荘)発生医学研究センターは、発生学的視点から生命科学・医学の統合的研究推進を図るために平成12年4月、熊本大学に設置された。

この領域の研究は、従来の基礎医学研究においても遺伝学、解剖学、組織学、分子生物学、細胞生物学などの学問分野により培われてきたが、本センターは設置使命達成のため、これら関連学問分野を個体発生的見地から統合して研究活動を行っている。

これを更に推進し、研究成果の樹立と国内外の研究者への分与を行う研究活動の拠点としてふさわしい研究環境を構築することを施設整備事業の目的とする。

2. 整備方針

研究施設として教育・研究に支障のない環境と、研究活動の拠点としてふさわしい研究環境を構築できる施設とする。

3. 全体動線計画（配置計画）

【図1】参照

4. 外構計画

（1）植栽

周辺環境との調和を図るとともに、研究者が憩える環境を与えられるよう、できる限り環境緑化に努める。

（2）歩道

周辺建物への移動に支障の無いよう歩道を設置する。（車椅子利用者も利用できること）

（3）道路

本施設東南側に団地周回道路を設置する。

5. 建物基本計画

建物は、鉄骨造、又は鉄骨鉄筋コンクリート造の高層建物とする。動線計画としては、各分野の動線は出来るだけわかりやすくする。また、各分野は出来るだけ1フロアーにまとめることが望ましい。